

# Windmolen



ロッテルダム日本人学校 谷崎 城

## スーパーでの買い物

オランダでは、現金はほとんど使いません。銀行のカードでPIN入力すれば、それでOK。レジによっては現金での支払いを受け付けていないこともあります。左の写真はバーコード読み取り機です。これで一品ずつ自分でバーコードを読み取らせ、レジを通らずに精算機で会計を済ませることができます。レジが混んでいる時に並ばなくてよいので、とても便利です。このように書くとごまかしが利きそうで、消費者の良心に委ねられているように思えますが、きちんと会計がされているかどうか、たまに店員がチェックしています。悪いことはできません。現金で支払う場合、おつりが四捨五入されて返ってくる人が多いです。



2.98ユーロの商品を5ユーロ札で支払うと、2ユーロしか返ってきません。細かいことはあまり気にしないのでしょうか。たまに得することもあるのですが…

右の写真はチーズ売り場です。種類が多く、熟成期間の短いものから長いものまであり、同じ種類でも熟成期間によって味が全く異なります。このスーパーでは、無料のコーヒーマシンが置いてあり、写真のようにカートに差して飲みながら買い物を楽しむことができます。



## 交通事情

左の写真は自宅から見た風景です。住宅の敷地内に駐車場を設けていない場合が多いため、敷地外の道路脇の駐車スペースにこのように車を停めています。私の住んでいるマンションは地下に駐車場がありますが、学校付近はこんな感じで停めなければなりません。私の縦列駐車の前もかなり上がりました。高速道路網が発達しており、どこへ行くにも快適なドライブを楽しめます。(ただ、車間距離をあまり空けずに猛スピードで飛ばす車が多いので、少し怖いです。)



右の写真は自転車道です。至るところで整備されていて、とても走りやすいです。ただ、原付バイクも通るので注意が必要です。あと、ふらふらと歩きながら左右を確認せずに自転車道を渡ろうとすると、ベルを鳴らされて怒鳴られます。



市内には、トラム・メトロ・バスの路線が何本も張りめぐらされており、10~15分間隔で運行されています。乗車には、ov-chipkaartと呼ばれるプリペイドカードが必要です。このカードにお金をチャージして、乗降時に読み取り機にタッチして使用します。乗降の際は、自分でボタンを押してドアを開けます。



NS (オランダ鉄道) は、中央駅から主要都市を結ぶ列車が何本もでており、ベルギーやフランスへ向かう国際列車タリスなども停まります。他のヨーロッパ諸国と同様に、信用乗車方式(乗客まかせ?)を採用しており、切符を持たなくてもプラットフォームまで自由に行けます。もちろん無賃乗車はいけません。見つかった場合は高額な罰金が待っています。

